

平成23年度新ふるさとづくり総合支援事業 事業概要と評価 中予地方局

市町	事業名	事業概要	評価
松山市	松山観光客誘致展開プロジェクト事業	松山旅行の商品化を促進し、観光交流人口の拡大及び地域経済の活性化を図る。	スペシャルドラマの放送を絶好の機会として、旅行会社をはじめとする観光業界全体への戦略的な広報宣伝を行った結果、業界新聞や雑誌、インターネットを活用した松山情報の発信に加え、『坂の上の雲』をゆかりとした地との交流事業やその地域でのキャンペーンの展開など、誘客に結びつける取組を行うことができた。
	北条スポーツセンター落成記念イベント『風早フェスタin北条』	スポーツ関連イベント、地域活力を用いた地域と一体となったイベントを展開する。	広報媒体を積極的に活用することで、落成イベントに当初見込んでいた来場者数2,000人を達成できた。地域の協力を得て、一体的にイベントを実施することができ、施設認知度の向上、地域活力の醸成に役立てられた。
	防災士養成事業	「防災士」の養成「防災士会」の立上げにより、地域防災力の向上を図る。	本事業により防災士179名の増員ができ、市内全域に防災士を配置することができた。これにより、各地区に防災士会が設置でき、勉強会を開催し、スキルアップを図るなど、地域の実情に応じた活動が展開されており、地域防災力の向上が図れた。
	コミュニティアドバイザー派遣事業	まちづくり等を実施する活動団体へアドバイザーを派遣し、まちづくりに関する助言指導を行う。	他市の先進的な事例紹介や、地域資源の活用方法について地域の実情に応じた具体的なアドバイスを行うことで、まちづくり活動の普及拡大に繋がった。開催回数が当初見込を下回ったため、周知方法を工夫すればさらに効果的だったと考えられる。
	開館30周年記念特別講演開催	子規博開館30周年を記念して、天野祐吉名誉館長とドラマ『坂の上の雲』出演者(本木雅弘、香川照之)とのトークライブを実施。	定員550名に対し、3,900名以上の多数の応募があり、事業も注目を集め、スペシャルドラマに対する期待度も上がり、道後地区、俳都まつやまの魅力を高めることができた。イベント運営に関し、チケットやチラシを自前で製作することにより、経費節減にも努めた。
	響け！！言霊“ことばのがっしょう”コンクール	「群読」によって協調性や連帯感を高めるとともに、子どもたちの豊かな表現力を養う。	500名に近い児童が参加し、保護者など1,000名以上の来場があり、児童の発表を通して、「ことばを大切に作る街づくり」の情報発信をすることができた。
	松山EC(電子商取引)活性化支援事業	電子商取引に関する市内事業者の技術の高度化・競争力強化を図り、地域活性化に取り組む。	講座出席者が予定より少なかったものの、講座受講店舗の売上増加や市内業者の楽天への出店数増加などに繋がった。今後は、講座受講者と交流することで、地域経済発展のための取組を研究していく。
	愛ランド里島構想策定事業	定住人口の増加や農水産物の販路拡大など島しょ部の活性化を目指す。	構想策定にあたり、島しょ部の振興にかかせない有識者や島民等との意見を集約したうえで構想素案を作成し、民間の意見を構想に反映させることができた。今後、本構想に基づき、農園と居住機能を備えた滞在型交流施設整備事業に係るニーズや意向調査、人材育成事業を実施する。
	まつやま里島ツーリズム連絡協議会事業	「まつやま里島ツーリズム連絡協議会」を組織し、島民自らが、島しょ部活性化のための活動を始める。	島民自らが、島しょ部活性化のためのイベント、情報発信などの活動を行うことにより、島しょ部の一体的な振興に繋がった。今後は、これらの地域振興の取組を継続的なものとし、核となる人材の育成や各島々の連携を深め、島しょ部全体が自立できるような体制づくりをめざす。
	「ふるさと松山学」教材作成事業	松山ゆかりの先人や伝統文化に関する説話を教材としてまとめ、各小学校に配布	松山市から輩出した多くの先人の行き方や業績を知ることにより、ふるさと松山の歴史や文化を改めて見つめ直すきっかけとなった。教材配布が年度末となってしまったが、もう少し早期の事業実施ができれば、さらに効果的だったと考えられる。
「なじみ集」特別展	正岡子規の魅力を確認し、生涯を追体験できる事業として資料「なじみ集」を開館30周年記念として大々的に公開	「なじみ集」の特別展の開催により、子規研究者をはじめ、多くの俳句ファンが子規記念博物館を訪れることになり、博物館のPRに加え、さらに、子規の魅力やことばの魅力を全国に発信し、「俳都まつやま」の魅力を高めることができた。	
三津の朝市活性化事業	三津浜地域の活性化について調査研究を行う。	観光客、市民へのニーズ調査等各種研究調査を通して、三津浜地区活性化構想の策定に向け原案作成を進めることができた。今後、構想の計画的な実現化、市民、企業、行政の協働による各種取組の具現化に取組んでいく。	

平成23年度新ふるさとづくり総合支援事業 事業概要と評価 中予地方局

市町	事業名	事業概要	評価
伊予市	デマンド交通システム構築事業	デマンド交通(乗合タクシー)運行管理システムの構築	地域住民と十分に合意形成を図りながら、システムの構築に取組み、当初の予定通りデマンドタクシーの本格運行を開始することができた。今後は、要請に応じた運行説明会の開催などにより、地域住民に愛され親しまれるシステムとして定着を図っていく。
	伊予国「あじの郷」再発見協働事業	食のまちづくりを推進するため啓発イベント「あじの郷フェスタ」を開催し、市の内外にPRする。	9月11日に開催したイベント『伊予国「あじの郷」フェスタ』において、1万人以上の以上の来客に恵まれ、伊予市が持つ「食の宝」について広く紹介することができた。イベント方式の啓発事業については一定の成果を得ることができたため、次年度は行わず、別の形で周知、啓発、情報発信を行っていく。
	着ぐるみを活用した「あじの郷づくり」啓発事業	伊予市における「あじの郷」づくりを象徴するキャラクター「ミカンまる」の着ぐるみを作成し、市内内外での啓発イベントや小学校、保育園での食育推進に活用する。	市内内外でのイベントに参加しパフォーマンスを行ったところ、キャラクターの名前や事業について、多くの方に知ってもらうことができた。今後は、派遣・貸出規定を設けたり、着ぐるみボランティアを募るなどして、運用性や管理性を高め、より計画的にあじの郷づくりのPRを行っていく。
東温市	東温フォトコンテスト	東温市内の観光資源等について撮影した写真を市内内外から公募し、優れた作品について表彰する。	東温市初めてのフォトコンテストであったが、7道県から159人、675点もの応募があり、東温市の魅力再発見に繋げることができた。入賞作品については、今後さらなる観光宣伝の手段として有効に活用する。
久万高原町	移住・定住促進対策事業	町外在住の町出身者にアンケート調査を実施し、町外在住者所有の町内空家物件の掘り起こしを行うとともに、移住定住施策を町内外にPRする。	空家バンクへの新規登録物件数、移住相談件数とも当初の計画を上回る成果が得られた。しかし、登録物件は老朽化して利用しづらい状況のため、今後、空家改修について検討していく必要がある。
	三坂道路開通に伴う観光PR事業	三坂道路開通後における町への観光入込客増加や道の駅オープンに向けた観光PR事業	三坂道路開通の約半年前から久万高原町を都市部に発信したことにより、開通直後には三坂道路の起点、終点ともに多くの車が流入し、大きな反響を呼んだ。開通翌日のイベントにおいても、天候不順にも関わらず500名を超える観光客で賑わい、観光客の増加が見られた。
	石鎚山ヒルクライム事業	日本山岳遺産に認定された石鎚山系を舞台に実施する自転車のヒルクライム競技	「石鎚スカイライン」は、石鎚山系の南麓を通るルートで、見る位置によりさまざまな形の石鎚山を楽しむことができ、参加者から好評を得た。また大会前には、地元ボランティアスタッフが自主的に草刈を行うとともに、当日の運営スタッフとしても多くの住民がかかわり、住民自らが地域イベントとして育てていくことができた。 今後は、年間を通じてサイクリストが訪れたいような自転車環境の整備などを検討していく。
松前町	消防団・自主防災組織合同水防訓練事業	消防団と自主防災組織の合同水防訓練、装備品の整備・貸与	各組織の責任者が訓練の趣旨・内容・重要性を認識し、訓練に臨み、訓練当日についても想定された時間内に想定された訓練内容を遂行することができた。今後は、当訓練の継続実施し、地域の実情に応じた訓練を行っていく。
	まさきちょう環境家計簿の作成	CO2の削減・省エネルギー行動への意識付けを図るため、環境家計簿を作成・普及	エコにつながる質問に対する回答が事業後半になるほど点数が良くなっており、エコに対する意識付けに効果的であったと考えられる。今後は、環境家計簿の内容を検討修正しながら継続していく。
	おたたさんで交通安全茶屋～警察犬きな子がやってくる～	タレント犬をゲストに迎え、町民と連携した交通安全啓発活動	知名度の高い警察犬きな子の影響で、短時間にも関わらず200人ものイベント参加があり、効果的な交通安全啓発ができた。小中学生の夏休みの課題の1つに交通安全ポスターの作成を加え、記念品や図書カードを贈呈するなどして、より参加型・体験型のイベントになるよう工夫ができた。
	男女共同参画ふれあいフォーラムの開催	町内の団体と共同で、男女共同参画フォーラムを開催	参加予想500人を大きく上回る約650人の参加があり、若い世代の参加も多く、男女共同参画に対する意識啓発につなげることができた。今後は、男性の参加を促し、さらに啓発活動に努めていく。
	防災ハンドブック作成事業	身近な防災の実践的知識等の情報を分かりやすくまとめたハンドブックを作成・配布し、町民の防災に関する「自助」意識を高める。	12月17日開催の自主防災組織ワークショップで教本として活用し、各地域の避難所、避難経路、危険箇所を確認することができた。配布後は、避難方法などの町民の問合わせが多数あり、防災への関心、防災意識の向上に効果があった。
砥部町	坂村真民記念館広報PR事業	平成24年春の開館に向けて建設を進めている坂村真民記念館の情報発信のため、ホームページ作成、パンフレット作成を行い、記念館による交流人口の拡大を図る。	様々な広報活動により、3月11日の会館以降10日間で2,691人の来館者があった。入館者は県内だけでなく全国に分布しており、宣伝効果があったと判断できる。今後は、観光協会等とタイアップして、継続的なPRを行い、交流人口の拡大に努めていく。